



月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
FAX 043(224)7197 番

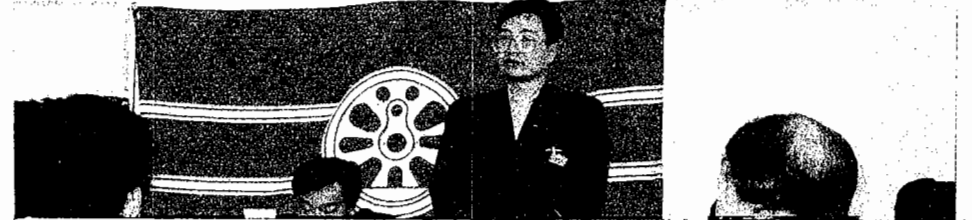
2000.12.26 No. 5245

経営責任の労働者への転嫁、貨物格差許すな

新小岩支部 第24回支部大会開催

新小岩支部第二十四回定期大会が、十二月十八日正午から新小岩操縦会議室にて開催され、一年間の方針を確認した。大会では、服部支部長が「七年連続の赤字と自然災害などで貨物の労働者は年三回悔しい思いをしている。これからは分割・民営化の矛盾を追及していく。労使協力宣言をしている組合が責任組合であることがまちがいだ。組織拡大、新小岩基地の存続問題、一人一人が活動家に合言葉に団結していこう。一〇四七名勝利へ、原点に立ち返り、JR会社法の改訂に何があっても職場を守っていく」と力

第24回定期大会 国鉄千葉動力車労働組合新小岩支部



強い挨拶を行なった。来賓として、東京東部交流センター小泉事務局長が「交流センターは国鉄決戦を柱に階級的労働運動を闘ってきた。国労の三度の「四党合意」採決を阻んできたことは、日本の労働運動に大きな影響を与えている。これからも新小岩支部と連帯して闘う」挨拶した。本部を代表して田中書記長は「貨物の仲間は動労千葉の運動を牽引している。旅客貨物団結して、分・民の決着は必ずつける。分・民はいたるところで破綻している。一番の問題は一〇四七名問題、ここに勝利しよう。動労千葉は三大闘争方針でこれから闘いぬく。新しい世代の動労千葉をということで、君塚さんに動労総連合の委員長をお願いした。来年は大きく飛躍しよう」と挨拶した。君塚総連合委員長は「貨物の問題もあり、委員長を引き受けた。過去の団結の財産で乗り切るのではなく、いま新しい闘いを創り出そう」と挨拶した。水野勝浦市議のメッセージが読み上げられたのち、駆け付けた国鉄闘争支援葛飾支援協会の佐保議長より「支援協会は総会で「四党合意」撤回まで闘うことを決めた。一四年の闘いは全国の労働者が注目し、影響を与えてきた闘いであり、国労中央の責任は大きい。これからも皆さんとともにガンバリたい」を挨拶した。

執行部より議事の提案のち質疑討論をおこない、この一年間の運動方針等を選択した。新旧役員挨拶、組合歌唱、服部支部長の団結ガンバローで支部大会は終了した。大会で出された意見

- ベアや夏冬一時金の闘いをもっと強力に。トンネルで貨物の事故が起きたが、運転保安に力を入れてやってほしい。
- 新小岩の将来展望は。
- 列車運行システムを入れたが、旅客のものなので貨物の実態にあっていない。改良して再度の導入とならないか。
- 駅もダイ改で要員ギリギリでいつ事故が起きるかかわからない。

二〇〇〇年度新役員体制

支部長	服部 和夫	運転士
副支部長	斉藤 隆男	運転士
書記長	笠井 清	運転士
執行委員	並木 敬治	運転士
同	佐藤 正和	運転士
同	堀 幸男	運転士
会計監査	前田 幸男	運転士
同		運転士

「と き」 一月七日(日)十四時より
《と ころ》 DC会館 / 大会議室

われわれは激動の渦中で、21世紀の幕開けの年一〇〇一年を迎えようとしている。資本主義体制が崩壊の危機にあえぎ、JR体制もまた崩れ去ろうとしている今、この時代は労働者にとつて大きな可能性を秘めた時代でもある。一〇四七名闘争に勝利しよう。シニア外注化阻止の大闘争に立ちあがろう。そしてJR総連解体！組織拡大を実現し、21世紀に通用する新世代の動労千葉をつくりあげよう。二〇〇一年動労千葉団結旗開きに多くの組合員の結集を！

動労千葉 二〇〇一年

団結旗開きに集まろう！

ない。駅に荷物があふれているのに運ぶ列車がない。●大宮操の便乗に「さいたま新都心」駅を使うようになったが、徒歩ルート指定などはつきりしたことが現場に伝わっていない。